

ざんねんなうつりかた ずかん 残念なうつり方図鑑

しずおかけん けんこうふくしが かんせんしょうかんにせんとー
 静岡県 健康福祉部 感染症管理センター か
 ふじけんこうふくし せんたー ふじほけんじょ
 富士健康福祉センター(富士保健所) にいる



静岡県
富士健康
福祉センター

ごとう みきお
 後藤 幹生

静岡県
感染症
管理センター



い ささ ちょうせん すぴーどかん しごと
 「生きる」を支える ～挑戦とスピード感あふれる仕事から～

しずおかけん けんこうふくしが
 静岡県健康福祉部

せきやくしゃみをする、たん、^{はなみず}鼻水、つばの

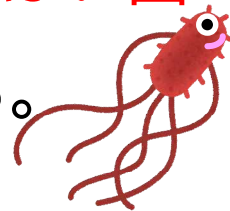
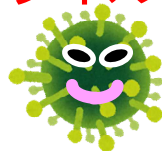
いろいろな^{おお}大きさのつぶつぶが、

^{くち}口や^{はな}鼻から^と飛び^だ出す。

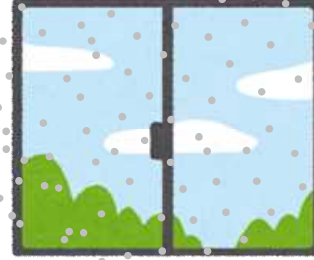


このつぶつぶに、^{きん}ばい菌

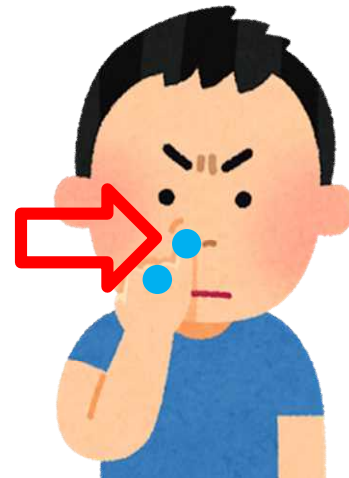
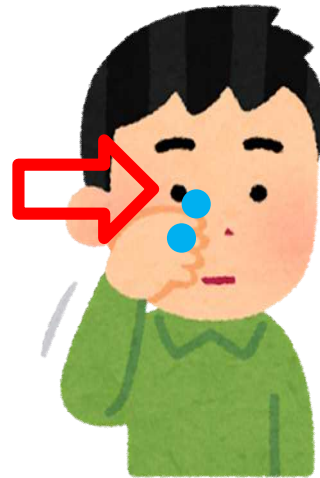
^{ういるす}やウイルスがいる。



おお
大きなつぶつぶは、^{てーぶる}テーブルの^{うえ}上とかに
すぐ^お落っこちる。



おお
大きなつぶつぶがついた^{てーぶる}テーブルの^{うえ}上とかを
さわった^て手で、^め目、^{はな}鼻の^{あな}穴、^{くち}口の中を
さわると、^{きん}ばい菌やウイルスがうつる(感染^{かんせん}する)。



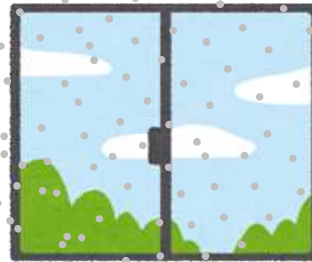
いろいろな^{ひと}人がさわったり、せきやくしゃみをする^{てーがる}テーブルの上^{うえ}とかを
さわっても、目^め、鼻^{はな}、口^{くち}をさわ^{まえ}る前に
^{せつ}石けんで^て手を^{あら}洗えば、うつらない。



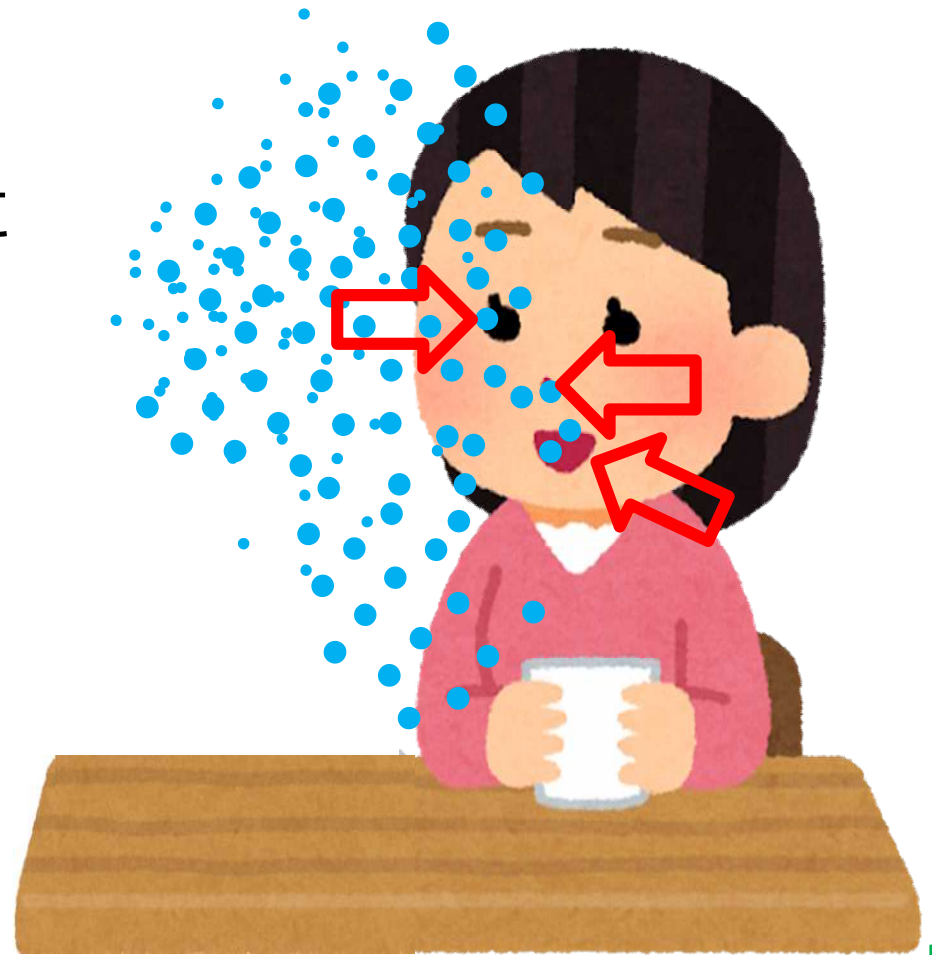
ちゅう
中くらい^{ちゅう}のつぶつぶや

ちい
小さな^{ちい}つぶつぶは、

ちか
近くの^{ちか}人にくっつく。



ちゅう
中くらいのつぶつぶや
ちい
小さなつぶつぶが、
ちか ひと め はな なか くち なか
近くの人の目、鼻の中、口の中に
くつつくと、^{かんせん}感染する。



ちい
小さなつぶつぶは、
おな　へや　なか
同じ部屋の中で
とお　と　い
遠くまで飛んで行く。



ちい
小さなつぶつぶを、
いき
息をするときに吸い込むと
はい
肺とかで感染する。



せきやくしゃみが出る人がマスクを^{ですく}すると、

とくに、^{だい}大と^{ちゅう}中^のつばつばは、

と^で飛び出にくくなる。

^{ちい}小さい^のつば

つばも^へ減る。



^{まど}窓^{をあ}けて^{かんき}換気^をすると、

^{ちい}小さい^のつばつばは、^{そと}外^に

と^い飛んで^へ行き、さらに^へ減る。

まとめ

かぜや^{ころな}コロナ、^{いんふるえんざ}インフルエンザにうつりにくくするために

^{だいじ}大事なことは、3つ。

①こまめに^{せっ}石けんで^て手を^{あら}洗う。



②せきやくしゃみが出る^でときは^{ますく}マスクをする。



③ときどき^{まど}窓を^あ開けて^{かんき}換気する。



保護者のみなさま、学校や園の先生方、そしてもっと知りたい君へ

- ▶ せき、鼻水、のどの痛み等の症状が急に出る上気道炎(鼻炎や咽頭炎等)と下気道炎(気管支炎や肺炎)をあわせて、**急性呼吸器感染症**といいます。
- ▶ 急性呼吸器感染症を起こす病原体は、コロナ、インフルエンザ、RSウイルス、アデノウイルス、溶連菌など多数あります。
- ▶ 急性呼吸器感染症の感染は、咳やくしゃみとともに口や鼻から飛び出し、病原体を含んでいる**感染性呼吸器粒子**が、目・鼻・口の粘膜に沈着するか、気道や肺へ吸入されることで起こります。
- ▶ この**感染性呼吸器粒子**のサイズは、数mmから0.001mmまで幅が広いです。
- ▶ この図鑑では、この**感染性呼吸器粒子**のことを「つぶつぶ」と表現しています。